

平成 29 年度日本素材物性学会研究会 ご案内

研究テーマ：「超分子錯体を活用する」

日 時：平成 29 年 12 月 8 日（金） 15：00～

場 所：秋田大学理工学部 6 号館（総合研究棟） 1 階講義室

〒010-8502 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学理工学部内

主 催：日本素材物性学会

共 催：秋田大学大学院理工学研究科

参加費：無料（自由にご参加ください）

概 要：超分子錯体とは複数の分子が共有結合とは異なる水素結合、疎水結合、ファンデルワールス相互作用など分子間相互作用により形成される分子集合体です。古くはクラウンエーテルによるアルカリ金属イオンとの包接錯体が知られており、近年では様々なタイプの超分子錯体や超分子ポリマーが活発に研究されています。今年度の研究会では、超分子錯体に関する最先端の研究を行っている 2 名の先生を県内外からお招きした講演会を企画しました。秋田大学の山田学先生は超分子錯体を利用した貴金属回収で優れた研究成果を報告している新進気鋭の研究者です。大阪大学の山口浩靖先生は超分子研究における第一人者であり、超分子を利用した様々な新しい材料を提案しています。超分子錯体の特徴と活用法を学ぶことで、新しい材料の開発や機能材料のデザインを改めて考える絶好の機会になるものと思われま

記

プログラム

- 15:00～15:10 開会挨拶 日本素材物性学会 会長 柴山 敦
- 15:10～16:00 「ピンサー型 Pd(II) 抽出剤およびシクロアルカンを認識する有機結晶の開発」
秋田大学大学院理工学研究科附属理工学研究センター 講師 山田 学 氏
- 16:00～16:10 休 憩
- 16:10～17:00 「超分子錯体が形成する特異的反応場」
大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻 教授 山口 浩靖 氏
- 17:00～17:10 まとめ 日本素材物性学会編集委員長 寺境 光俊

交 流 会

日時：研究会当日 17:40～
会場：秋田大学 大学会館 2 階研修室
会費：1,000 円（当日会場で承ります）

連 絡 先

日本素材物性学会事務局 担当：佐藤英之
電話&FAX：018-889-2439
E-mail：s_bussei@gipc.akita-u.ac.jp

※交流会への参加希望者は、上記事務局宛ご連絡ください。当日直接参加も可能です。